ＩＣＴ導入による
活きた情報の共有化

社会福祉法人　信義福祉会
特別養護老人ホーム　あかなすの里

介　護　員　　田村　真人
生活相談員　　小早川　知仁

施設紹介

社会福祉法人　信義福祉会

特別養護老人ホーム
あかなすの里
（三島市）

平成9年開設《従来型特養》

特養　50名
ショートステイ　20名

ＩＣＴ導入による
活きた情報の共有化

ＩＣＴ機器導入前の環境

介護ソフトをいれたパソコンはあったが、

- **介護支援専門員がケアプランを作成する**
- **生活相談員が介護保険請求業務を行う**

程度

日々のケア記録は、それぞれの職員が手書きで記録していた。

ハード面の環境整備とツールの選定

R4.4～　ICT機器導入に際し

①全館Wi-Fi環境の整備

②パソコン・タブレット端末の購入

③ケア記録ソフトの選定

“環境„は整ったはずだが・・・
何から始めたらいい？

・記録入力ソフトも決まり、使用方法の説明動画も見たけど
　どうやってはじめたらいいの？

・タブレット端末の電源はどこ？

・紙じゃないと記録されているのかもわからない。

・覚えることが多くて面倒。

・操作の仕方を教えてくれる人がいない。　など　問題だらけ。

時は令和４年度、４月の主任会議にて…

施設長より一言

「**翌月から記録はICT機器に切り替えま～す**」

主任さん

「**えーっ…。**」「**どうしよう…。**」

主任会議にて、ＩＴ委員会の立ち上げ

ICT機器導入にあたり、新たに**IT委員会**を設置

比較的年齢が若く、電子機器に強い現場職員を中心に

いつでもわからないことが聞きやすい環境で、

現場主導型で構成

ＩＴ委員会のメンバー構成

・Ａ・Ｂ・Ｃ各グループの介護職員1名ずつ　計３名

・請求業務などに関わる生活相談員　　１名

・スーパーバイザーとして施設長　　１名

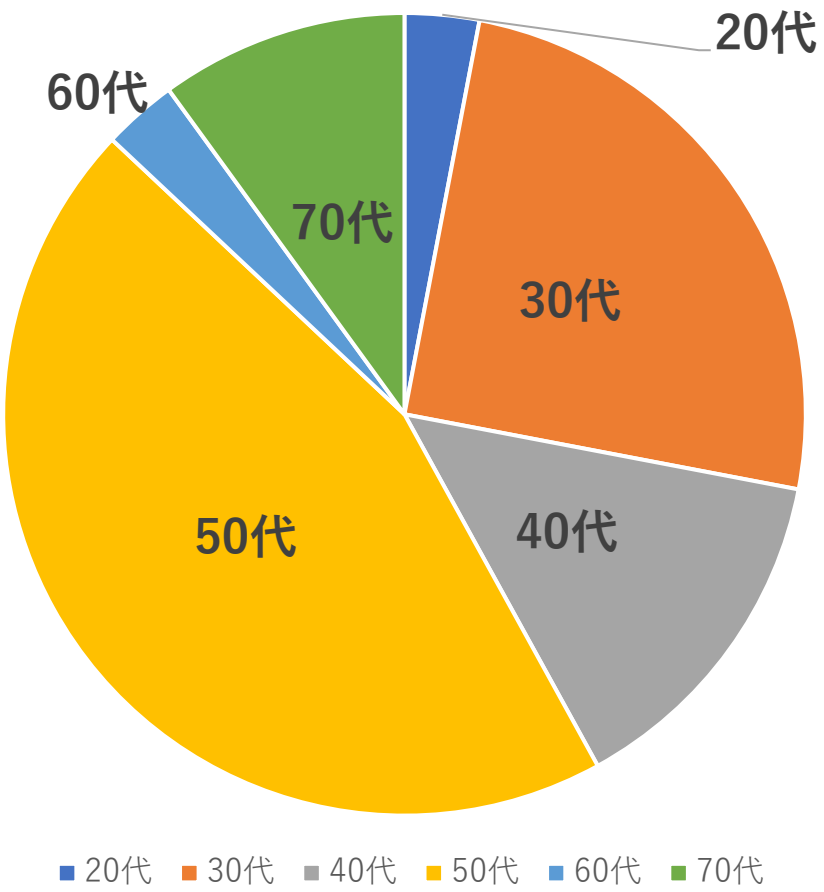
計５名　で構成

IT委員会にて目標の決定

・今までの書く記録から、その都度タブレット端末を使い、データとして入力する記録への業務転換改革。

・職員の意識改革（紙→データ化になったことによる）見えない情報の共有をいかに「活きた情報（リアルタイムな情報）」として共有できるか。

あかなすの里　職員の年齢層



ICT機器導入前の知識　アンケート結果

- **ICT導入前、介護現場におけるICTの知識は、どのくらいありましたか？**

全くない　81%　ほどほど　19%　自信がある　0%

- **介護現場においてICT導入は必要と感じていましたか？**

そう思う　30%　**どちらとも言えない　58%**　必要ない　12%

さぁ、とりあえずやってみよう！！

- 今までの出勤時のルーティーン

①全体の申し送りノート
②グループの申し送りノート
③全体の日誌
④会議の議事録
⑤個人のケースファイル　　など

紙ベースの申し送りノート欠点

・何冊ものノートに目を通さなきゃいけない！

・誰かが見ていたら、他の人が見れない！

・きれいな字ばかりではない（笑）

申し送りノートに代わるものをどうする？

- **Microsoft　Teams**を使い、ファイルの共有

今までのたくさんあった申し送りノート・申し送り事項を導入した**タブレット端末1台**ですべて閲覧できるようにした。

チーム

あなたのチーム

信義福祉会Home

一般
000_全体向けお知らせ
100_特養あかなすの里
101_特養Aチーム
102_特養Bチーム
103_特養Cチーム
200_リスク
250_不具合報告
400_あかなす
900_事務共用
10 件の非表示のチャネル

テストチーム

一般
1 つの非表示チャネル

101_特養Aチーム　投稿　ファイル　申し送りノート

返信

2023年7月11日

特養あかなすの里　07/11 9:16
Aさん　解放して食事席変更あり。確認して下さい。

特養あかなすの里　07/11 9:17　編集済み
職員A　職員B　職員C　職員D　相談員A　看護師A

返信

特養あかなすの里　07/11 13:37
Bさん
ベッド臥床時写真のような環境設定でお願いします。
柵は曲げておく、マット倒れた場合の頭の部分は二つ折りに。
よろしくお願いします。

特養あかなすの里　07/11 13:37　編集済み
職員B　職員C　職員A　職員E　看護師B
相談員A

返信

特養あかなすの里　07/11 17:13
Cさん
便失禁、尿失禁見られる事多い為、日中、夜間共にオムツの使用をお願いします。トイレ誘導は引き続きお願いします。
また、水分は甘麦に氷を入れてあげると飲みが良いとのこなので、甘麦がある場合には提供お願いします。

特養あかなすの里　07/11 17:13　編集済み

特

特養あかなすの里　07/11 13:37

Bさん

ベッド臥床時写真のような環境設定でお願いします。
柵は曲げておく、マット倒れた場合の頭の部分は二つ折りに。
よろしくお願いします。

申し送り事項

特

特養あかなすの里　07/11 13:37　編集済み

職員B　職員C　職員A　職員E　看護師B

相談員A

確認した職員の署名

↩ 返信

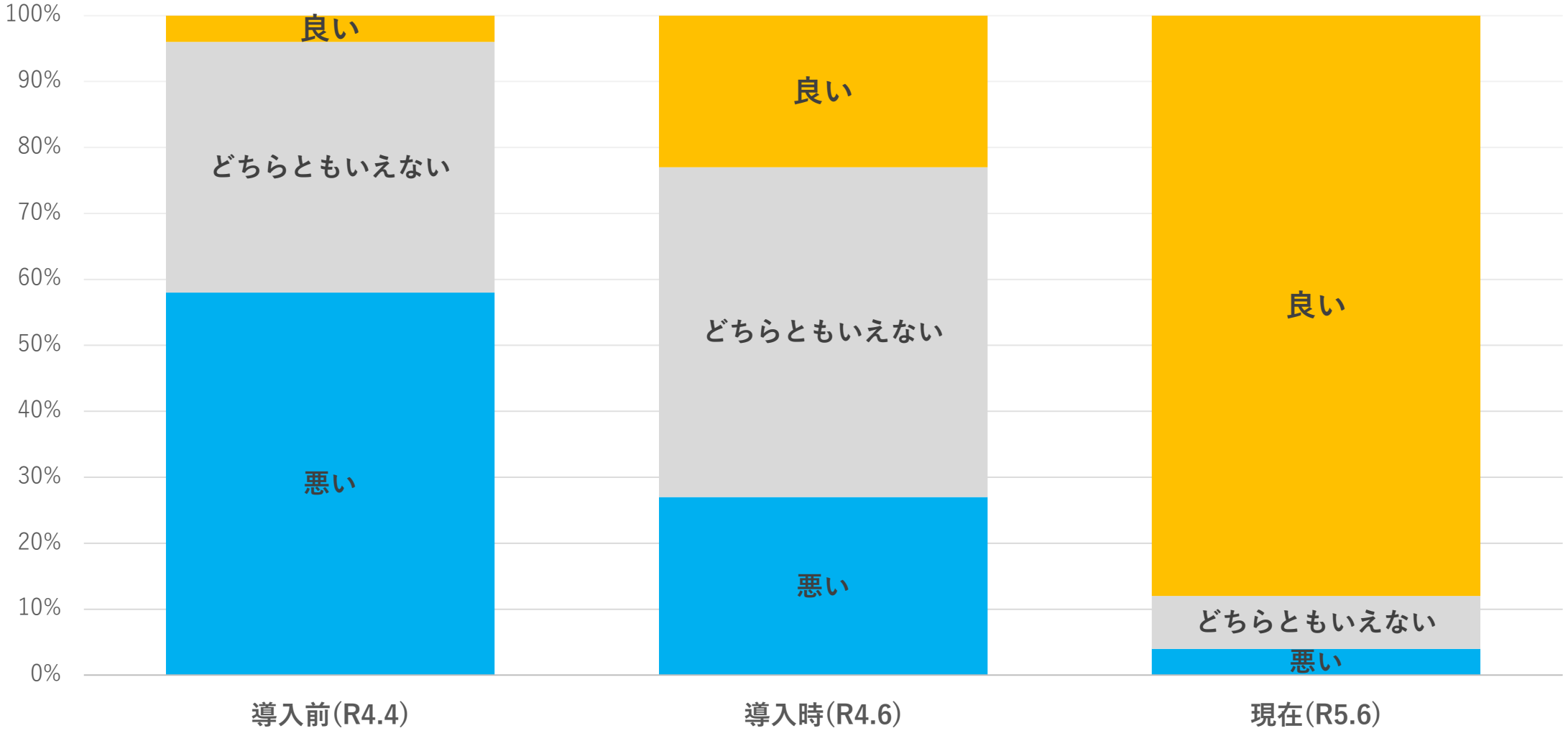
Microsoft Teamsを導入したメリット

①いつでもどこでも同時に必要な情報が確認できる。

②IT委員会の意図としては、職員に

タブレット端末にとにかく触らせる、いじってもらう事で、機器への抵抗感を減らさせる。

Teamsを使用してどう？



ケア記録ソフトの導入

・各職員がタブレット端末を持ち歩き、食事、排泄、
心身の状態の変化などをその場で入力し、記録を行う。

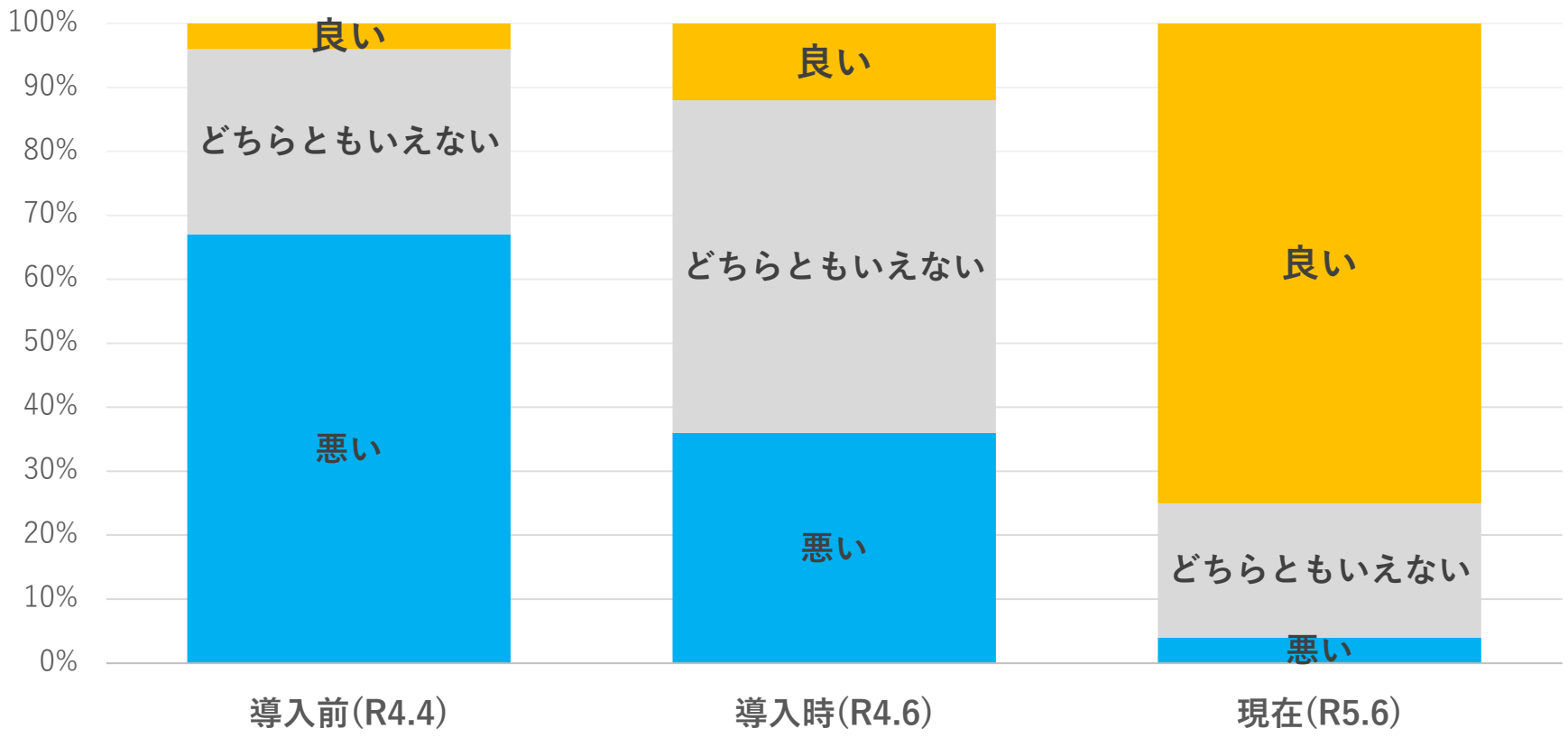
・ひとつのタブレットで、利用者全員の記録が
検索できる。

・今までの書く記録から、入力データの記録に変更

タブレット
端末での記録

バイタル測定後
直接入力

ケア記録ソフトにしてどうだった？



インカム機器の導入

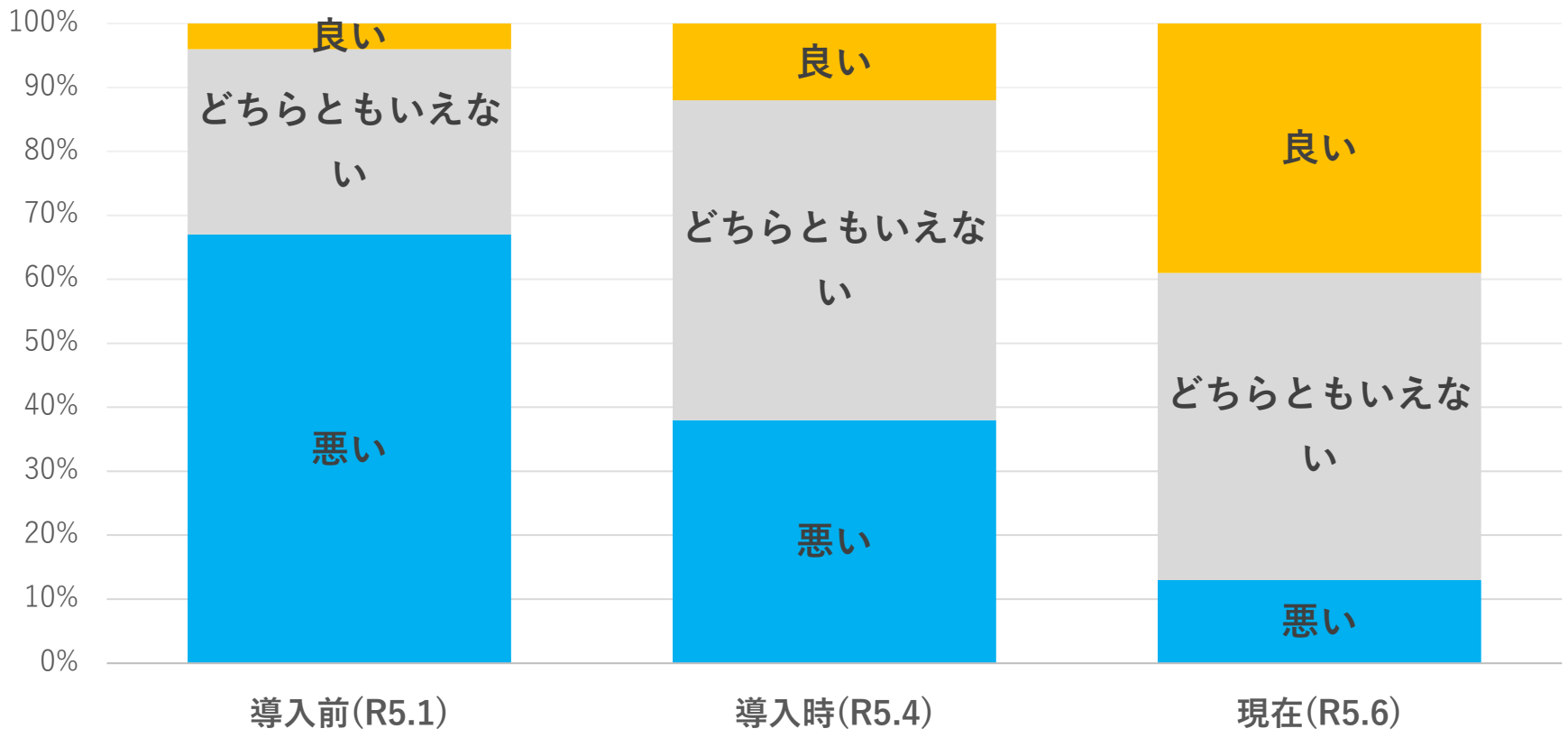
・Wi-Fi環境下でインターネット回線を使い、耳掛けのイヤホンマイクでグループ通話が可能。

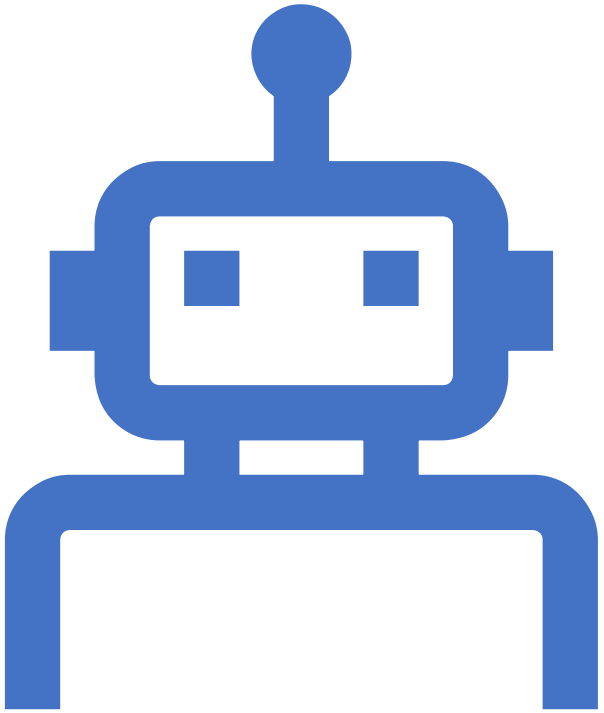
・介護記録ソフトのタブレットを持ち歩きながら、イヤホンマイクを使用し、職員間で話ができ、連携が取れる。

インカム
装着

ボタン押し、
離れた人と
通話可能

ぶっちゃけインカムってどう？





ＩＣＴ機器導入による効果

1.記録などの間接業務時間の減少

0-29分	27%
30-59分	40%
60-89分	27%
増えた	6%

多くの人が間接業務時間が減少している中で、一部の人にはICT機器導入によって、増えたという報告があり。

2.介護記録ソフトなどを活用し、記録の充実

- タブレットのカメラで、褥瘡や傷、皮膚の状態などの経過を写真で追うことができ、誰にでもわかりやすい。
- 日々の経過が根拠に基づくデータとして活用できる。
- 記録内容の充実により、ケアの質が向上した。
- 申し送りに費やす時間の削減と申し送りの充実。
- 過去の記録が検索しやすい

3.インカム機器などを活用し、リスクや事故の減少

- 夜勤時にトラブルがあってもその場を離れず静かにヘルプが呼べる。

- 業務が効率化されることにより、職員の体力的・心理的負担の軽減。

- 1対複数で会話ができるので、情報の伝達・共有が楽になる。
また職員全員で働いている感覚になりチームワークが生まれる。

機器導入に伴う課題

導入後、時間が経過することによって作業効率が上がっている職員と、デジタル化によって作業効率が下がった職員、その能力の差は一年経って確実に出てきている。

最後に

ICTの導入に携わって感じたこと

- ICT導入には、ある程度の事前準備やベースは必要
- 最初からすべての機能を使いこなすことは不可能。正解はなく施設ごとオリジナルなものでいい。
- うまくいかないだろうというマイナス要素ばかり考えてしまうと、前には進めない。

※せめてIT委員はポジティブ思考で!!

変わることを恐れず

挑戦することを恐れず

失敗を恐れず

すべては

度胸

ご清聴ありがとう

ございました。